

企画山行「中級沢登り」

大源太川北沢本谷

Ｌ平本 1班 　Ｌ平本、早川、志満、新井

2班 　Ｌ西村、後藤、安藤

3班 　Ｌ田中、野澤、山口(記録)

2010年9月5日

新しい企画山行「中級沢登り」は日帰りで参加しやすいこともあり参加者10人と賑やかな山行となった。

前夜発で12時頃、大源太山登山口の駐車場に到着。テントを張り仮眠をとる。

7:00駐車場発。前日昼間から田中さんと後藤さんとともに釣目的で先に現地に入っていた齊藤さんは足首、手首の具合があまり良くないため大事をとって中止。斎藤さんのお見送りの中、各班に分かれて出発する。

登山道を30分ほど歩くと入渓点に到着。

しばらくは小滝から4m程の滝の連続で快適に歩く。流れが右に90度曲がる場所に7mの滝が現れる。滝の右側はホールドがはっきりしているが、補助ロープを出して登る。その先は傾斜のゆるいスラブ状12mの滝。ここは左側のクラックを登る。

9:15三俣に到着。右側の七ツ小屋沢からは30mの立派な滝が掛かっている。

北沢本谷には20m程の滝が掛かっている。西村Pと平本Pは右側の乾いたリッジ状のスラブをロープを出して登っていったが、スラブは思ったより傾斜があり、手掛かりに乏しく、難しい感じ。そのまま上部で灌木帯に入って高巻いていった。田中Pは滝の左側の流れ沿いを登る。若干、悪いところもあ

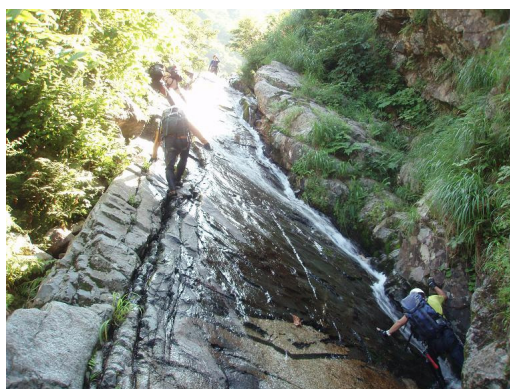
ったがこちらは、高巻くこともなく抜けることができた。そしてすぐにチムニー状の滝が現れる。これは、中々面白い、と思わずズリと這い上がりながら上部まで来たが最後の抜け口が何と悪い…。田中さんが抜け口先の木の枝にスリングを使って抜ける。野澤さんと私はお助け紐で抜ける。そのあとは、だんだん流れが細くなりながら小滝を越えて行くと流れがなくなり、あとはスラブと灌木帯を繰り返して稜線にでる。稜線から大源太山の山頂までは15分程。

下山は1時間半ほどの道のりだが、これがあまりの暑さのため熱中症になりそうな大変な下山となった。なんとか入渓点まで戻り、水を飲み、浴びる。そこから駐車場までは30分程。帰りは岩の湯で汗を流して帰路へ着いた。

今回の山行は私にとっては久々の沢であり、快適な沢登りを楽しめた。中級沢登りを企画していただいたリーダー平本さん、参加した皆さん、お疲れ様でした。

コースタイム 7:00登山口～7:30入渓点～9:15三俣～12:30稜線～12:45大源太山頂～15:40登山口

参考 東京起点 沢登りルート120



【スラブ状12mの滝】